

令和6年度ふくしま農業人育成セミナー  
～経営継承で未来へ繋ぐふくしまの農の宝～  
開催要領

1 目的

福島県農業経営・就農支援センターの相談件数は昨年度1,300件となり、今年度も多様な相談対応を行っているところであるが、現在「経営継承」の相談が急増している。

現状、後継者がおらずリタイアする経営体が増える一方で、新規就農相談は増えているものの、資材高騰等により独立自営就農のハードルが高くなっている。

このような状況から、離農予定者と新規就農希望者をマッチングさせることは、地域の担い手や農地の維持につながるともに、就農者は経営基盤をそのまま引き継げるため初期投資を抑えられ、早期に経営確立を図りやすいというメリットがある。

そこで、本セミナーでは、経営継承のポイントや地域ぐるみでの経営継承支援の取り組みを学び、農業の経営継承について知見を深めることにより、本県農業の担い手の確保・育成及び産地の維持・発展に寄与することを目的とする。

2 主催

福島県、福島県農業経営・就農支援センター

3 開催日時

令和7年1月23日（木）13:00～15:45（開場12:00）

4 場所

郡山ユラックス熱海 大会議室（郡山市）

5 内容

13:00～13:10 開会、挨拶

13:10～14:05 基調講演「農業の経営継承におけるポイント」

講師：高田 武氏

栃木県農業会議で農地制度、農地税制、農業簿記、家族経営協定、法人化等の農業経営発展支援業務に従事

現在、(一社)全国農業会議所 専門員

14:05～14:50 事例紹介①「樹園地継承事業と連動した新規就農支援」

～JA子会社を中心とした生産性の高い栽培方式導入による園地の整備・管理の取組～

講師：(有)信州うえだファーム 顧問 船田 寿夫氏

14:50～15:00 休憩

15:00～15:45 事例紹介②「ナシ産地の維持発展に向けた、担い手・園地等の確保」

～生産者組織による離農園地の維持・管理の取組～

講師：茨城県県西農林事務所経営・普及部門

(筑西地域農業改良普及センター)

地域普及第三課長 安嶋 紀幸氏

※センターより資料配布による情報共有を実施。

6 参集範囲及び参加人数

農業者、就農希望者、関係機関・団体役職員ほか 計 150～200 名程度

7 参加費

無料